

都道府県名：福島県	市町村名：いわき市
<p>1. 活動名 里山整備</p>	
<p>2. 取組の背景、目的</p> <p>(1) 2001年に森との共生をテーマに開催された「うつくしま未来博、森のネイチャーツアー&森の学校」のいわき版を作ることと、約40年前にはどこにでもあった里山を市民の手によって再生して、その里山において市民が安全に気軽に楽しく利用できる仕組みを作ることなどをねらいとして2001年10月設立。2004年6月NPO法人認証</p> <p>(2) 今までに活動を通して、里山再生のためには木の利用促進が不可欠であると思うようになり、現在地元の木を利用するための仕組み作りについていろいろと検討中である。</p>	
<p>3. 実施主体 特定非営利活動法人 いわきの森に親しむ会</p>	
<p>4. 取組の概要（平成21年度の活動から）</p> <p>(1) 市民の森づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 湯ノ岳・21世紀の森・岩出の郷・戸渡等の観察コース約8kmの点検整備 通年実施 スタッフ：延420名 ● 湯ノ岳山荘周辺における果樹、山菜、キノコ、野菜等の栽培 (間伐材、落葉、木灰等の活用のため) 通年実施 スタッフ：延560名 ● 湯ノ岳山荘周辺のスギ：ヒノキ林（約1ha）の搬出間伐作業 09/10～10/1 スタッフ：延90名 ● 21世紀の森植樹場所の下刈作業 (5年前に一般市民親子で植樹した場所の手入れと自然観察会を毎年実施) 09/8, 9, 11, 12 スタッフ：69名 参加者：68名 <p>(2) 研修会（実施場所 湯ノ岳山荘）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● もりづくり技術研修会（7日間） (チェーンソー、刈払機の取扱いについての講義と実技) 10/1～10/3に実施 専門講師 スタッフ：3名 受講生：8名 	

- 土の石の観察会のプログラム研修会
 専門講師
 受講生：3/13 14名、3/14 13名
- 自然観察および自然体験活動プログラム勉強会
 スタッフをリーダーとして実施
 参加者延べ150名
- 森の健康診断手法の研修会
 講師：矢作協メンバー 2名
 受講生：5/9 22名、5/10 16名
- 土壌観察研修会
 専門講師
 受講生：6/1 18名、11/29 15名
- グリーウッドワーク研修会
 専門講師：3名
 受講生：7/18 11名、7/19 11名
- 森林療法研修会
 専門講師
 受講生：9/22 14名、11/25 20名

(3) 環境教育支援

- いわき明星大学現代GP自然体験プログラム支援
 古殿町、自然観察の仕方と間伐体験
 5/23
 スタッフ：20名
 学生：42名
- 湯ノ岳山荘で1泊2日研修
 （日本自然保護協会の自然観察指導員養成講座のプログラムを中心としたもの）
 9/26 スタッフ：20名、学生：50名
 9/27 スタッフ：17名、学生：50名
 10/3 スタッフ：11名、学生：40名
 10/4 スタッフ：9名、学生：40名
- 福島県森林環境教育指導員養成セミナー
 （湯ノ岳山荘において1泊2日研修）
 8/10 スタッフ：5名、参加者：23名
 8/11 スタッフ：4名、参加者：24名
- 小中学校の森林環境教育支援
 （湯ノ岳山荘および小中学校において実施）
 09/4～10/2の間21回
 生徒：690名

(4) 自然体験活動

- ろうきん森の学校自然体験プログラム
(湯ノ岳山荘において実施)
(自然観察会、間伐体験、キノコ植菌、炭焼体験、クラフト、野外料理体験他)
月1回
スタッフ：5~10名
参加者：15~40名
- いわき市フラワーセンター森林教室
毎月実施
(自然観察会、ネイチャーゲーム、各種クラフト他)
(月1回：8回、月2回：4回)
スタッフ：2~4名
参加者：10~30名
- 湯ノ岳山荘利用者に対する自然体験活動支援
随時実施

5. 支援事業

- 福島県森林ボランティア団体活動支援事業
35万円、補助率：1/2
- いわき市森林ボランティア団体活動支援事業
9.7万円、補助率：1/2
- 労働金庫連合会ろうきん森の学校事業助成金
400万円、補助率：100%

6. 取組等についての成果や課題

(成果)

- 市民の森を市民の手で作り・守り・育てるという考え方で里山の再生整備を行っているが、その中で観察コースについては市内8ヶ所に約8,000mを整備できた。
- 自然観察指導員約100名、森づくりの担い手約40名を養成し、うち現在会員として活動中のものは指導員約40名、担い手約30名となっている。
- ろうきん森の学校事業展開により一般市民はもとより都市住民の参加が多くなった。とくに毎月実施しているろうきん森の学校自然体験活動にはリピーターを含め多くの方々の参加が得られるようになった。
- 間伐材を利用した高床式四阿(30坪)を地元の林業者の協力を得て建設中。

(課題)

- 森づくり作業におけるリスクマネジメントの確立。
- 森林環境教育のさらなる充実のために自然観察指導員のレベルアップが必要になっている。

- 湯ノ岳山荘において常時自然観察会や自然体験活動が可能になるための仕組み作り。
- 間伐材を中心に木を使う運動への取組み。当面は親子対象の木育教育活動からスタートするのが将来は、設計士、木材見学者、市民団体等のネットワークを作り、地元の木を使う運動につなげたい。



11月21日 21世紀の森下草刈り



2/13 もりづくり技術研修会
チェーンソーの目立て



2/13 もりづくり技術研修会
実技研修



2/20 自然体験活動
野外の石窯で焼くピザの生地作り



自然体験活動
竹林での間伐体験 (2/20)



自然体験活動
杉林での間伐体験 (10/31)



自然体験活動
木エクラフト (6/13)



自然体験活動
炭窯からの窯出し



自然体験活動
炭窯への竹材の窯入れ



自然体験活動
救命訓練



森の健康診断手法の研修会 (5/9)



グリーンウッドワーク研修会 (7/18)



グリーンウッドワーク研修会 (7/19)



森林環境教育支援 (10/5)



森林環境教育支援 (9/9)



土壌観察研修会 (11/29)



自然観察会 (11/1)



21世紀の森植樹祭 (12/5)



21 世紀の森植樹祭 (12/5)



四阿建築地鎮祭 (2/24)



四阿建築上棟式 (3/14)



森林療法研修会 (9/22)